

男女共同参画推進課

1 市民プラザあくろす管理運営 予算科目(款・項・目) 10・35・23 [決算書141ページ]

男女共同参画推進センター、産業労働支援センター及び市民活動支援センターの三つの機能で構成する多様な市民活動の拠点施設として設置し、指定管理者制度を導入し運営しているもの

(1) 施設利用状況

ア 月別利用者数(来館者数) (平成29年度から、印刷室利用者を含む。) (単位:人)

区分 月	あくろす諸室	男女共同参画 推進センター	産業労働支援 センター	市民活動支援 センター	月別計
4月		1,469	482	416	2,367
5月		1,140	536	272	1,948
6月	2,144	2,678	623	3,025	8,470
7月	2,751	1,408	566	5,372	10,097
8月	2,470	1,841	469	2,264	7,044
9月	4,046	1,586	476	2,705	8,813
10月	3,952	1,865	485	2,840	9,142
11月	4,283	1,756	470	2,795	9,304
12月	3,849	1,084	426	2,458	7,817
1月	1,563	1,634	355	1,694	5,246
2月	2,600	1,821	349	1,908	6,678
3月	3,323	1,497	500	1,889	7,209
計	30,981	19,779	5,737	27,638	84,135

イ あくろす諸室月別利用者数 (単位:人)

	会議 室1	会議 室2	研修 室1	研修 室2	研修 室3	研修 室4	研修 室5	和室	調理 室	保育 室	ホール1	ホール2	月別計
4月													
5月													
6月	412	184	113	213	153	37	64	156			429	383	2,144
7月	495	283	142	335	286	46	79	198	13	10	458	406	2,751
8月	391	210	141	298	161	55	66	182	9	22	509	426	2,470
9月	497	300	197	496	502	68	90	183	81	28	810	794	4,046
10月	658	347	181	356	298	64	109	208	48	24	890	769	3,952
11月	657	415	224	338	416	73	120	296	86	89	867	702	4,283
12月	584	359	171	337	380	47	94	266	57	78	701	775	3,849
1月	317	175	103	164	179	42	59	165	53	6	165	135	1,563
2月	379	293	132	264	269	48	92	213	15	45	458	392	2,600
3月	524	305	147	276	312	58	118	187	52	17	687	640	3,323
計	4,914	2,871	1,551	3,077	2,956	538	891	2,054	414	319	5,974	5,422	30,981

ウ 月別利用率

(単位：%)

月区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
会議室1			35.8	39.5	41.4	54.1	54.1	61.8	58.4	50.0	52.3	57.0	50.2
会議室2			26.5	46.4	39.5	56.5	55.6	60.7	59.5	37.4	62.7	62.7	50.5
研修室1			23.9	34.1	35.5	43.0	36.7	48.8	41.3	35.7	51.9	41.5	38.8
研修室2			30.0	36.2	48.5	50.7	44.4	54.6	50.7	34.4	45.0	45.2	44.1
研修室3			19.1	34.1	25.2	52.0	45.4	62.3	51.9	30.6	51.5	41.2	41.2
研修室4			23.1	30.3	33.4	43.0	44.4	49.1	30.5	33.3	32.7	40.0	36.1
研修室5			23.3	44.1	30.2	38.2	45.1	44.3	33.6	29.3	39.6	46.1	37.5
和室			22.5	33.3	34.7	42.4	39.0	55.4	53.6	40.5	48.8	39.1	40.6
調理室				1.8	1.9	10.1	5.4	11.9	13.7	10.9	3.8	8.2	6.7
保育室				0.8	14.3	5.6	6.7	12.7	10.5	1.4	22.3	3.3	7.4
ホール1			31.3	39.0	41.6	54.1	56.2	60.7	52.1	23.8	44.2	47.6	45.5
ホール2			29.7	34.6	34.0	52.5	51.8	53.8	48.4	17.3	40.8	49.4	41.7
諸室平均			26.5	31.2	31.7	41.8	40.4	48.0	42.0	28.7	41.3	40.1	37.4
スモールオフィス	100.0	100.0	100.0	92.9	85.7	71.4	71.4	71.4	71.4	71.4	71.4	71.4	81.8
全体平均	100.0	100.0	56.8	53.9	51.6	52.7	51.8	56.7	52.9	46.2	54.3	52.9	56.5

※ 諸室の各月における利用率は、諸室ごとの月間の貸出可能時間と利用時間との比率。諸室の合計の利用率は、諸室ごとの年間の貸出可能時間と利用時間との比率

(2) 新型コロナウイルスの影響に伴う施設の開館状況

対応期間	開館状況	諸室の貸出し等の状況
令和2年3月28日～ 4月12日	通常時間で開館	休止
令和2年4月13日～ 5月31日	平日の閉館時間を午後10時から 午後8時に繰上げ。土曜日・日曜日・祝日は終日休館	休止
令和2年6月1日～30日	通常時間で開館	調理室及び保育室を除き、各諸室の定員を通常定員の2分の1として貸出し
令和2年7月1日～ 10月30日	通常時間で開館	各諸室の定員を通常定員の2分の1として貸出し
令和2年11月1日～ 令和3年1月11日	通常時間で開館	各諸室の定員を通常定員の3分の2として貸出し（調理室は2分の1、保育室は通常定員で貸出し）

令和3年1月12日～ 3月21日	閉館時間を午後10時から午後7時に繰上げ	各諸室の定員を通常定員の2分の1として貸出し
令和3年3月22日～	通常時間で開館	各諸室の定員を通常定員の2分の1として貸出し

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い諸室の利用をキャンセルした場合は、利用料金を全額還付した。

(3) 調布市市民プラザあくろす運営連絡会

ア 概要 市民プラザあくろすの円滑な運営及び連携を図るため、男女共同参画推進センター、産業労働支援センター、市民活動支援センター及び指定管理者により設置したもの

イ 委員構成等 各センター職員（6人）及び指定管理者職員（6人）をもって組織 男8人、女4人

ウ 開催回数 12回

(4) 施設修繕

ア 調布市市民プラザあくろす伝送ユニット交換修繕

イ 調布市市民プラザあくろす電気式空調機交換修繕

2 男女共同参画推進事業 予算科目(款・項・目) 10・35・25 [決算書141～143ページ]

男女共同参画社会の実現を目指し、「調布市男女共同参画推進プラン」に基づいて総合的、計画的に男女共同参画推進のための事業を実施するもの

(1) 市の審議会や委員会における女性の参画状況

ア 基準日 4月1日

イ 市の審議会や委員会における女性の割合

		30年度	元年度	2年度
委員全体	委員総数	1,246人	1,204人	1,206人
	女性委員の総数	394人	381人	382人
	女性の割合	31.6%	31.6%	31.7%
委員のうち 市職員	委員総数		402人	396人
	女性委員の総数		83人	76人
	女性の割合		20.6%	19.2%
市職員を除く 委員合計	委員総数		802人	810人
	女性委員の総数		298人	306人
	女性の割合		37.2%	37.8%

※ この表における「市職員」は、職員配置表に掲載している特別職（市長、副市長、教育長）及び職員（再任用職員・任期付職員を含む。）をいう。

※ 平成30年度における市職員及び市職員を除く委員の数は、未集計

(2) 主催事業

ア 講演会

男女共同参画への理解を深め、自らの問題として認識し行動するきっかけとするための講演会を実施した。

事業名	実施日	会場	テーマ・内容	講師	参加者数 (保育数)

高尾美穂講演会 ～女性のからだを知り ころとからだを整えよう～	令和3年 2月6日	市民プラ ザあくる す ホー ル1・2	女性特有の不調や病 気、それらに影響を受 けるメンタルの不調 についての予防法や 対処法を知る機会を 与える	高尾美穂氏（産 婦人科医・スポ ーツドクター）	25人 (1人)
------------------------------------	--------------	------------------------------	---	-------------------------------	-------------

イ 講座等

男女共同参画社会の実現を目指し、意識啓発のための講座等を実施した。

事業名	実施日	会場	テーマ・内容	講師	参加者数 (保育数)
だれでもアカデミー ～しえいくはんず	令和2年 8月7日	市民プラ ザあくる す ホー ル1・2	気のきく女性が、夫を 子ども化させてい く?!	中島由子氏（心 理カウンセラ ー）	28人 (4人)
	令和2年 9月18日		争いやいじめの中に ある「心理ゲーム」を 学ぼう!	中島由子氏（心 理カウンセラ ー）	29人 (2人)
	令和2年 10月30日		DV・モラハラを学ば う! ～知って、気づ いて、行動するために ～	高木由美子氏 (弁護士, セン ター相談員), 中島由子氏（心 理カウンセラ ー）	27人 (3人)
	令和2年 11月20日		コロナ禍の今だから 「パートナーのタイ プを知って円満生 活!」 ～お互いに理 解を深めて、おうち時 間もニコニコ♪～	中島由子氏（心 理カウンセラ ー）	25人 (3人)
	令和2年 12月11日		禁止令とドライバー を学び、自分の人生脚 本を知ろう	中島由子氏（心 理カウンセラ ー）	21人 (1人)
女性の「キャリア研 究」についての講演	令和2年 11月18日	白百合女 子大学	大学生に対して、女性 の社会的・経済的自立 の必要性について考 える機会を与える	長谷川能扶子氏 (1級キャリア コンサルティング 技能士)	58人
	令和2年 12月16日				71人
女性のための起業 セミナー（産業労働 支援センター、日本 政策金融公庫、多摩 信用金庫と共催）	令和3年 2月18日	市民プラ ザあくる す ホー ル1・2	女性の多様な働き方 の一つとして、起業と いう選択肢があるこ とを啓発し、起業への 支援に繋げる	原田あやめ氏 (株式会社こと の葉舎代表取締 役)	16人 (1人)

ウ 展示

名称	実施期間	テーマ・内容	場 所
ジェンダーギャップに関する展示	通年	男女共同参画意識を啓発するため、日本における最新のジェンダーギャップ指数や世界の男女格差の一覧を展示	男女共同参画推進センター内
ほっとサロンしえいくはんずの紹介	通年	グループ相談・ほっとサロンしえいくはんずのテーマや各講師を紹介するパネルを展示	男女共同参画推進センター内
DV 防止啓発展示	令和2年12月～令和3年3月	DV 防止啓発のため、DV を特集した「男女共同参画推進センター通信 49 号」掲載の暴力の事例や支援の流れを展示	男女共同参画推進センター内

(3) 男女共同参画推進センター通信「しえいくはんず」の発行

男女共同参画に係る情報を広く市民に周知するため、広報紙を合計約10,000部発行し、市内公共施設や中学校等に配布した。また、調布市ホームページにも掲載した。

号	テーマ	特 集 内 容
50	今、あなたに伝えたいこと・・・	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、今までとは違う「新しい日常」の実践を求められ不安を抱える市民に向けて、女性相談員からのメッセージを掲載
51		
52	デートDV ～大好きな人と一緒にのにキツくない?～	デートDVについての様々な事例を紹介するとともに、相談機関や被害者・加害者・第三者の立場からどう行動するべきかを掲載し、周知・啓発するもの

(4) 図書・資料コーナーの運営

男女共同参画推進センター内に購入した図書等を配架し、利用者の閲覧・貸出しに供することで、男女共同参画に関わる知識を深められるようにした。

ア 図書・資料コーナー

図書の購入 72冊（雑誌、行政資料等含む蔵書数 2,745冊）

新規貸出登録者数 39人（貸出登録者数 467人）

貸出状況 延べ316人、403冊

イ 図書の展示

来館者に伝えたいテーマの図書を男女共同参画推進センター内に展示した。

実施期間	テーマ	場 所
令和2年10月～11月	DV 撲滅、児童虐待防止のキャンペーンに伴いDV やハラスメント関連の本を展示	男女共同参画推進センター内
令和2年12月～ 令和3年2月	高尾美穂講演会の開催に合わせ、高尾美穂氏著書の本を展示	男女共同参画推進センター内

(5) 市民参加事業「男女共同参画推進フォーラムしえいくはんず2020」

参加団体を公募し、6団体による実行委員会及び3団体の協力により、市民プラザあくろすで実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべての企画を事前予約制で開催。期間中の参加者は、スタッフを含め延べ236人であった。フォーラムの様子を撮影して、市ホームページの動画ライブラリから配信した。また、記録集を200部発行した。保育人数は0人

ア 開催日 令和2年9月19日, 10月11日

イ テーマ 支え支えられ, 共に生きる

ウ 内容

(7) 実行委員会企画

事業名	実施日	テーマ・内容	講師	参加者数
柳亭こみち講演会 「自分らしく生きて、夢を叶える」	令和2年 9月19日	落語界初の二児の母の真打として精力的に活動している柳亭こみち氏を招き, 落語を通して市民に子育てと仕事の両立や女性の働き方について考える機会を与える	柳亭こみち氏 (落語家・真打)	33人

(イ) 団体企画

事業名	実施日	テーマ・内容	講師	参加者数
自分を知るための自己分析カウンセリング	令和2年 10月11日	心理テストの結果を用いてカウンセラーがカウンセリングを行い, 自分を知る手がかりとしてもらう	COCORO テラスカ ウンセリングサークル	6人
スニーカーの悩み 個別相談・健康ウォークをかなえる足と靴の講座 ～ラクラク! 軽やか! 歩けるコツ～	令和2年 10月11日	足や靴, 歩き方について困っている人の個別相談と自分に合ったスニーカー選びの方法を伝える講座を開催	フットの会	6人
フィルムで作ろう! ステンドグラス	令和2年 10月11日	カラーフィルムでステンドグラスを作るワークショップを開催	こどもアートくらぶ	15人
つくってあそぼう! ダンボールめいろ!	令和2年 10月11日	親子で楽しみながらダンボール迷路を作るワークショップを開催	きらきらキッズ	17人
カラダで遊ぼう! 親子でワクワクを見つけよう☆カラダ遊びとミニ絵本づくり	令和2年 10月11日	手遊びやミニ絵本作りを通して親子で一緒に身体を動かし, スキンシップを図るワークショップを開催	たまじゅうわくわく創造隊	6人
ギャネックと遊ぼう!	令和2年 10月11日	ケイビネコ「ギャネック」の着ぐるみが各団体のコーナーを訪問し, イベントを盛り上げる	ユウグライド	32人

(ウ) 団体企画以外のイベント等

わがまち調布の輝き女性(びと)の紹介展示及び柳亭こみち講演会・インタビューの放映

(6) 一時保育事業

男女共同参画推進のための講座, 講演会又は男女共同参画推進フォーラムの事業開催時に, 1歳以上就学前の幼児を連れて参加した保護者のために, 別室で一時保育を行った。

	30年度	元年度	2年度
保育延べ人数(人)	18	14	15

(7) 相談事業

男女共同参画の視点に立ち、社会環境や家族の形態の変化により生じる、生活、心・健康のこと、家庭における暴力の問題、仕事や再就職などの様々な悩みについて女性相談員が応じ、相談者自身が解決の糸口を見いだして、性別に捉われない自由な生き方を選択できるよう支援する相談を行った。

ア 女性の生きかた相談

〈利用状況：面接相談〉

	30年度	元年度	2年度
相談枠設定件数(件)	408	405	403
相談件数(件)	319	317	307
利用率(%)	78.2	78.2	76.2

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い面接相談について電話での相談も可能とした。

〈利用状況：電話相談〉

	30年度	元年度	2年度
相談件数(件)	44	59	78

※ 電話相談の相談時間として、年間で175時間の枠を設定した。

〈相談内容内訳〉

(単位：件)

区分	30年度	元年度	2年度
自分自身の生き方	324 (23)	332 (34)	345 (60)
夫婦関係	191 (18)	204 (12)	160 (14)
家族・親族の人間関係	197 (14)	221 (32)	197 (35)
その他の人間関係	89 (8)	102 (6)	102 (17)
健康	91 (15)	81 (15)	97 (32)
暮らしのこと	156 (8)	120 (14)	141 (35)
暴力	161 (12)	138 (8)	104 (10)
その他	10 (5)	20 (9)	25 (9)
合計	1,219 (103)	1,218 (130)	1,171 (212)

※ 相談内容内訳件数は、面接相談と電話相談を合計した件数とし、括弧内はその内電話相談で受けた件数

※ 一人で複数の相談内容があるため、相談件数とは一致しない。

イ 女性のための法律相談

〈利用状況〉

	30年度	元年度	2年度
相談枠設定件数(件)	156	156	154
相談件数(件)	100	119	119
利用率(%)	64.1	76.3	77.3

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い電話での相談も可能とした。

〈相談内容内訳〉

(単位：件)

区分	30年度	元年度	2年度
夫婦関係(離婚等)	78	83	95

家族・親族の人間関係（相続等）	9	14	9
その他の人間関係（人権侵害等）	3	9	7
暮らしのこと（金銭貸借等）	1	6	1
暴力	22	18	20
その他	8	10	7
合 計	121	140	139

※ 相談内容内訳件数は、一人で複数の相談内容があるため、相談件数とは一致しない。

ウ 女性のヘルスケア相談（思春期～更年期）

〈利用状況〉

	30年度	元年度	2年度
相談枠設定件数（件）	37	40	34
相談件数（件）	19	22	14
利用率（%）	51.4	55.0	41.2

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い電話での相談も可能とした。

〈相談内容内訳〉

（単位：件）

区 分	30年度	元年度	2年度
体の不調	13	8	6
性・妊娠・出産	1	3	0
不妊について	0	0	0
心に関して	15	18	12
暴力	9	10	7
その他	2	3	2
合 計	40	42	27

※ 相談内容内訳件数は、一人で複数の相談内容があるため、相談件数とは一致しない。

エ 女性のための仕事&生活サポート相談

〈利用状況〉

	30年度	元年度	2年度
相談枠設定件数（件）	60	55	50
相談件数（件）	41	45	38
利用率（%）	68.3	81.8	76.0

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い電話での相談も可能とした。

〈相談内容内訳〉

（単位：件）

区 分	30年度	元年度	2年度
就職活動	3	4	7
適職探し	3	4	0
転職希望	3	4	1
ワーク・ライフ・バランス	4	3	3
労働条件・労働環境	0	1	1
職場の人間関係	4	8	4
セクハラ・パワハラ	0	0	0
暴力	1	0	4

その他	25	19	21
合 計	43	43	41

※ 相談内容内訳件数は、一人で複数の相談内容があるため、相談件数とは一致しない。

オ 働く女性の人生相談

〈利用状況〉

	30年度	元年度	2年度
相談枠設定件数（件）	36	36	45
相談件数（件）	24	28	30
利用率（%）	66.7	77.8	66.7

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い電話での相談も可能とした。

〈相談内容内訳〉

（単位：件）

区 分	30年度	元年度	2年度
自分自身の生き方	6	11	12
夫婦関係	6	7	5
家族・親族の人間関係	1	3	3
その他の人間関係	2	2	4
健康	4	3	0
暮らしのこと	0	2	1
暴力	3	4	2
その他	16	14	5
合 計	38	46	32

※ 相談内容内訳件数は、一人で複数の相談内容があるため、相談件数とは一致しない。

カ 暴力に関する相談内容分類

平成30年度

（単位：件）

誰から受けているか 暴力の内容	配偶者又は 交際相手		親		子ども・兄 弟・親族		知人		見知らぬ 人		合 計	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
身体的暴力	5	113	9	7	2	6	0	0	0	0	16	126
精神的暴力	6	260	36	23	19	23	4	10	0	0	65	316
性的暴力	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	1	13
経済的暴力	1	80	3	4	5	4	0	0	0	0	9	88
合 計	13	466	48	34	26	33	4	10	0	0	91	543

令和元年度

（単位：件）

誰から受けているか 暴力の内容	配偶者又は 交際相手		親		子ども・兄 弟・親族		知人		見知らぬ 人		合 計	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
身体的暴力	1	76	4	7	1	8	0	0	0	1	6	92
精神的暴力	2	204	16	21	6	14	4	3	0	1	28	243
性的暴力	2	16	0	1	0	0	0	0	0	2	2	19
経済的暴力	2	82	0	3	0	1	0	0	0	0	2	86

合 計	7	378	20	32	7	23	4	3	0	4	38	440
-----	---	-----	----	----	---	----	---	---	---	---	----	-----

令和2年度

(単位：件)

誰から受けているか 暴力の内容	配偶者又は 交際相手		親		子ども・兄 弟・親族		知人		見知らぬ 人		合 計	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
身 体 的 暴 力	1	60	3	0	0	11	0	1	0	0	4	72
精 神 的 暴 力	4	159	27	6	9	16	4	3	0	0	44	184
性 的 暴 力	0	23	0	1	0	1	0	3	0	0	0	28
経 済 的 暴 力	0	50	1	2	0	0	0	0	0	0	1	52
合 計	5	292	31	9	9	28	4	7	0	0	49	336

※ 市民相談課（家庭相談）、子ども家庭課（母子・婦人相談）及び男女共同参画推進課が受けた相談のうち、暴力に関する相談内容をまとめた。女性の生きかた相談は、電話相談の件数も含む。

※ 暴力の内容と受けている相手について、一人で複数の内容があるため、件数は重複している。

※ 「配偶者」には、法律婚だけでなく事実婚も含み、現在は離婚している関係も含む。

キ グループ相談（事業名：ほっとサロンしえいくはんず）の実施

相談員（専門家）の進行のもと、子育てとの両立、家族や家庭のこと、体の不調などの同じ悩みを持つ者が集まり、少人数で話し合うもの

(ア) 開催回数 7回

(イ) 参加人数 延べ20人（保育数 延べ18人）

回	実施日	テーマ	参加者数 (保育数)
1	令和2年 9月11日	ポジティブに考えてみませんか？新しい暮らし方、働き方	3人 (1人)
2	令和2年 9月30日	赤ちゃんといっしょに ママとパパの子育てサロン	2人 (2人)
3	令和2年 10月28日	～大変！だけど、楽しみも2倍！～ ふたご育児を頑張るママ、パパ、集まれ！	4人 (6人)
4	令和2年 11月25日	赤ちゃんといっしょに ママとパパの子育てサロン	3人 (3人)
5	令和2年 11月26日	ポジティブに考えてみませんか？新しい暮らし方、働き方 第2弾	2人 (0人)
6	令和3年 1月27日	赤ちゃんといっしょに ママとパパの子育てサロン	2人 (2人)
7	令和3年 2月24日	赤ちゃんといっしょに ママとパパの子育てサロン	4人 (4人)

ク 相談事業に伴う一時保育事業

1歳以上就学前の幼児のいる相談者のために、別室で一時保育を行った。

	30年度	元年度	2年度
保育利用相談件数（件）	12	27	12
保育延べ人数（人）	16	27	17

ケ 相談カードの配布

相談事業の周知を目的として、相談カレンダーが記載されたカードを男女共同参画推進センター、市役所、文化会館たづくり等の公共施設等に配架した。

配架数 4, 390枚

(8) 団体・グループ活動支援事業

男女共同参画社会の実現を目指し、広く市民の男女平等意識の啓発・普及や女性の社会参画等の推進事業を行う市民活動団体の支援を行うもの

令和2年度における調布市男女共同参画推進活動費補助金交付要綱に基づく申請は、0件だった。

(9) 調布市男女共同参画推進センター運営委員会の運営

ア 概要

(7) 男女共同参画推進センターの円滑な運営及び男女共同参画社会の実現に向けた事業について検討するもの

(4) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律第27条に基づく協議を行う場として、地域における女性の活躍について議論するもの

イ 委員構成等 有識者(3人)、団体推薦者(4人)、公募市民(2人)、調布市男女共同参画コーディネーター(1人)、市職員(1人)をもって組織 男3人、女8人

ウ 開催回数 3回(令和2年8月24日、同年11月19日、令和3年3月22日に開催)

(10) わがまち調布の輝き女性(びと)

市内で自分らしく働く女性を紹介し、女性が活躍できる場の情報提供を行うもの。取材結果を市報・市ホームページ等に掲載した。

実施回数 1回

(11) 調布市男女共同参画推進プランの推進

ア 調布市男女共同参画推進プラン推進協議会の運営

(7) 概要 「調布市男女共同参画推進プラン」を推進し、男女共同参画の総合的かつ効果的な推進を図るため、市の「男女共同参画のための重点的取組」などについて庁内各部署が組織横断的に連携しながら検討協議するもの

(4) 委員構成等 市職員(14人)をもって組織 男6人、女8人

(7) 開催回数 1回(新型コロナウイルスの影響に伴い、書面にて令和2年8月25日に開催)

イ 調布市男女共同参画推進プラン推進委員会の運営

(7) 概要 調布市男女共同参画推進プラン推進協議会の専門委員会として設置し、調布市男女共同参画推進プラン(第4次)改訂版の実施状況報告書の内容等について検討するもの

(4) 委員構成等 市職員(8人)をもって組織 男3人、女5人

(7) 開催回数 1回(新型コロナウイルスの影響に伴い、書面にて令和2年8月18日に開催)

ウ 調布市男女共同参画推進プラン(第4次)改訂版の実施状況報告書の作成

令和元年度に実施した男女共同参画に向けた取組を取りまとめ、庁内各部署へ配布した。

発行部数 230部

(12) 調布市男女共同参画に関する意識調査の実施

令和4年度から開始する次期調布市男女共同参画推進プランの策定に向けた基礎資料とするため、「調布市男女共同参画に関する意識調査」を実施した。調査結果は、報告書として取りまとめ、市ホームページに掲載するとともに、庁内各部署に配布した。

ア 調査対象

(7) 調布市男女共同参画に関する市民意識調査 住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の市民3,000人(男女各1,500人)

(イ) 調布市男女共同参画に関する事業所意識調査 市内52事業所

イ 調査方法 郵送による調査票の配付・回収

ウ 調査期間 令和2年11月13日から同月30日まで

エ 回収率

(ア) 市民意識調査 47.3%

(イ) 事業所意識調査 63.5%

(13) 配偶者暴力防止事業

ア 配偶者暴力防止及び被害者支援に関する講座・講演会

事業名	実施日	会場	テーマ・内容	講師	参加者数 (保育数)
講座 だれでもアカデミーしえいくはんず 「DV・モラハラを学ぼう！～知って、気づいて、行動するために～」 (再掲)	令和2年 10月30日	市民プラザあくるすホール1・2	配偶者暴力の中でも表面化しにくい精神的暴力(モラル・ハラスメント)について、実態や対策などを学ぶ	高木由美子氏(弁護士, センター相談員), 中島由子氏(心理カウンセラー)	27人 (3人)
デートDV出前講座	令和3年 3月4日	市立第八中学校	中学3年生を対象とする, デートDVについての講座	秋山俊氏(弁護士)	58人
	令和3年 3月9日	市立調布中学校		鳥生尚美氏(弁護士)	166人

イ 調布市配偶者暴力防止等対策ネットワーク会議の開催

(ア) 概要 配偶者からの暴力防止及び被害者支援に関する対策を推進し, 被害者の支援等に携わる関係機関相互の連携強化を図るもの

(イ) 委員構成等 市職員(6人), 関係機関委員(10人)をもって組織 男10人, 女6人

(ウ) 開催回数 1回(新型コロナウイルスの影響に伴い, 書面にて令和3年2月10日に開催)

ウ パープルリボン・プロジェクトinちょうふの実施

毎年11月12日から同月25日までの国の「女性に対する暴力をなくす運動」週間にちなんで, 様々なイベントを実施した。また, 当該月は「児童虐待防止推進月間」でもあり, DVと児童虐待の間には密接な関係が認められることから, 「オレンジリボンキャンペーン」と連携して事業を実施した。

(ア) パープルリボンの着用

女性に対する暴力根絶運動の国際的なシンボルマークであるパープルリボンを, 令和2年11月1日から同月30日までの間, 市の職員等が着用することで, 暴力を許さない意識を共有するとともに, 暴力根絶に向けた市の姿勢をアピールした。

また, 児童虐待防止シンボルカラーであるオレンジとパープルの2色に重ねたりボンを希望する市民へ配付したほか, 市内事業所にもリボンの着用や広報物の配架などに協力をいただいた。

(イ) デートDV・JKビジネス被害防止パネルの展示

a 内容

総合福祉センターの「ウインドウ美術館」に、デートDV及びJKビジネスを特集した通信「しえいくはんず」を拡大したパネルや、JKビジネス被害防止ポスターを展示した。

b 期間 令和2年10月15日から同年11月30日まで

(ウ) 「パープル&オレンジアマビエ」展

a 内容

暴力を許さない意識を育み、共有するため、DV根絶と児童虐待防止の願いを込めて、市民や市職員が折った紙でパープルとオレンジの2色の妖怪アマビエのオブジェを制作し、展示した。

b 展示期間（場所）

(a) 令和2年10月15日から同年11月4日まで（文化会館たづくり1階エントランスステージ）

(b) 令和2年11月5日から同月30日まで（市民プラザあくろす3階ロビー）

(エ) 小林グレイ愛子写真展「グアテマラの女性たちの暮らしと布〜グアテマラに魅せられて〜」

a 内容

中米・グアテマラで女性の支援活動をしている小林グレイ愛子氏の写真展。男女の役割、格差から見える男女差別やDVについてのメッセージも展示した。

b 展示期間（場所）

令和2年10月15日から同年11月30日まで（市民プラザあくろす3階男女共同参画推進センター内）

※ 期間中、男女共同参画推進センターホームページ上でウェブ写真展を実施

(オ) パープル&オレンジライトアップ

令和2年11月1日から同月8日まで、内閣府の取組に賛同し、調布駅前広場の樹木をパープル色とオレンジ色で交互にライトアップした。

エ デートDV防止啓発シールの掲示

デートDVの未然防止及び相談場所を周知するシールを、市民プラザあくろすや文化会館たづくり等のトイレの個室ドア内側などに掲示した。